

報告事項ア

鳥取県特別支援学校技能検定の実施結果について

鳥取県特別支援学校技能検定について、別紙のとおり報告します。

平成26年12月22日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

## 鳥取県特別支援学校技能検定の実施結果について

平成26年12月22日  
特別支援教育課

平成26年度特別支援学校技能検定を実施しましたので報告します。

- 1 実施期日 平成26年12月16日(火)  
午前9時50分から午後3時30分まで
- 2 会場 県立琴の浦高等特別支援学校  
689-2501 鳥取県東伯郡琴浦町赤碓1957-1
- 3 参加者 県内特別支援学校高等部生徒30名  
白兔養護学校8名、倉吉養護学校6名、県立米子養護学校7名  
琴の浦高等特別支援学校9名
- 4 実施内容 清掃部門

### 5 認定者

- (1) マスター検定(床及び机上清掃) 受検者数13名

1級	8名	2級	5名
----	----	----	----

- (2) チャレンジ検定(床清掃) 受検者数17名

1級	10名	2級	6名
4級	1名		

### 6 外部見学者

- ・鳥取県ビルメンテナンス協会 会長、事務局長
- ・鳥取高齢・障害者雇用支援センター センター長、アビリンピック担当
- ・(株) ジャパンディスプレイ ・(福) こうほうえん
- ・(福) 博愛会 ・障害者就業・生活支援センター

※日本海新聞社とNHKの取材あり

### 7 審査員長総評

- ・生徒の努力が非常によく伝わってきた。学習の成果が発揮されていた。
- ・水拭きモップの使い方が改善されると更に上手になる。
- ・1級を取得しても、更に確実な作業を目指してほしい。日々、努力を忘れないで挑戦してほしい。

## 8 参加生徒の感想

- ・すごく緊張していて、頭の中が真っ白になってしまいました。でも、終わってみてやりきったという実感がわきました。少ない練習しかできなかったけど、皆がすごく成長していてびっくりしました。
- ・練習の時よりうまくできました。最初で最後の技能検定で、とても緊張しました。終わってから、「良かったよ」と声をかけてもらってとてもうれしかったです。技能検定を受けて、少しだけ自信を持てたと思います。

## 9 実施成果

- ・検定中の挨拶や行動はてきぱきとしており、一定の水準の用具操作もできていたため、1～2級の認定者がほとんどだった。各校での清掃を扱う学習内容は異なるが、基本的な技能や態度が身についていた。
- ・作業手順の多い検定内容であったが、手順を覚え、一つ一つを丁寧に実行できていた。今回の検定内容のように手順や重点が明確になれば、企業に求められる技能や態度を十分身につけられることがはっきりした。鳥取県ビルメンテナンス協会関係者からも高い評価をいただき、就労への期待感が高まった。
- ・受検した生徒たちは、日常では感じない張り詰めた緊張感の中、日頃の成果を発揮することができ、達成感を感じていた。
- ・身のこなしや物を扱う姿から、感覚と運動の発達のアンバランスさがうかがえた。発達に視点をあてた指導を充実させることで、生徒一人一人の技能の質が向上すると感じた。

## 10 当日の様子



(参考)

#### 級の認定について

マスター検定、チャレンジ検定とも、評価基準に照らして3名の審査員が採点し、1級から10級を認定する。審査員は鳥取県ビルメンテナンス協会が推薦する者とする。

#### 【マスター検定】

	マスター検定	認定者のイメージ
1級	200 ～ 186	国家検定（ビルクリーニング技能士）のダスタークロス、水拭きモップ合格レベル
2級	185 ～ 171	企業で充分力を発揮できるレベル
3級	170 ～ 156	
4級	155 ～ 141	
5級	140 ～ 126	補助があれば一通り作業ができるレベル
6級	125 ～ 111	清掃の流れにそって、用具を操作する基礎が身につき始めているレベル
7級	110 ～ 91	
8級	90 ～ 71	適切な用具操作に慣れてきたレベル
9級	70 ～ 51	
10級	50 ～	

#### 【チャレンジ検定】

	チャレンジ検定	認定者のイメージ
1級	150 ～ 131	補助があれば一通り作業ができるレベル
2級	130 ～ 111	清掃の流れに応じて、用具を操作する基礎が身につき始めているレベル
3級	110 ～ 91	
4級	90 ～ 71	適切な用具操作に慣れてきたレベル
5級	70 ～ 61	
6級	60 ～ 51	
7級	50 ～ 41	用具の使い方がわかり、清掃方法がわかってきたレベル
8級	40 ～ 31	
9級	30 ～ 21	
10級	20 ～	